

真夏のオリオン (2009)

メディア 映画
ジャンル 戦争 ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 119分
初公開日 2009/06/13
公開情報 東宝

【キャッチコピー】

きっと帰ると、オリオンの星に誓った。

【解説】

池上司の処女作『雷撃深度一九・五』を「ローライ」「亡国のイージス」などの原作者で知られる福井晴敏の監修・脚色で映画化した戦争ドラマ。第二次世界大戦末期、恋人が綴ったある楽譜を胸に日本軍最後の砦となった潜水艦を指揮する若き艦長とその部下たちが米軍駆逐艦との息詰まる攻防戦に挑む姿を壮大なスケールで描く。主演はTV「のだめカンタービレ」の玉木宏。共演に「ハンサム★スーツ」の北川景子、これが俳優デビューとなる人気ボーカルデュオ、CHEMISTRYの堂珍嘉邦。監督は「月とキャベツ」「地下鉄（メトロ）に乗って」の篠原哲雄。

現代。ある日、倉本いずみのもとに、元米海軍駆逐艦艦長の孫が差出人の手紙が届く。またその手紙には古びた手書きの楽譜が同封され、祖母・有沢志津子のサインが記されていた。いずみは過去を紐解くため、かつて日本海軍で潜水艦長を務めた祖父を知るただひとりの存命者・鈴木を訪ねることに。そして、鈴木老人はいずみの疑問に答えるかのように遙か昔の記憶を辿り、語り始める。第二次世界大戦末期、いよいよ劣勢に立たされた日本海軍は米海軍の燃料補給路を断つべく、沖縄南東海域にイー77をはじめとする潜水艦を配備していた。イー77の艦長、“海中の天才”倉本孝行。彼はこの出航前、互いに想いを寄せていた志津子から、“真夏のオリオン”と題された手書きの楽譜を受け取る。船乗りの間では吉兆とされる、真夏の夜明けに輝くオリオンのごとく想いを託された倉本。こうして彼らは敵を迎え撃ち、ついに激戦の幕が切って落とされる…。

【クレジット】

監督	篠原哲雄	Tetsuo Shinohara
監修	福井晴敏	
製作	上松道夫 吉川和良 平井文宏 亀井修 木下直哉 宮路敬久 水野文英 吉田鏡 後藤尚雄	
企画	亀山慶二 小滝祥平	

エグゼクティブ
プロデューサー 梅澤道彦

市川南
佐倉寛二郎

プロデューサー
小久保聡

山田兼司
芳川透

原作 池上司

『雷撃深度一九・五』(文春文庫刊)

脚本 長谷川康夫
飯田健三郎

脚色 福井晴敏

撮影 山本英夫

視覚効果 松本肇

美術 金田克美

編集 阿部互英

音楽 岩代太郎

主題歌 いくつか

『願い星～I wish upon a star～』
(ニューヨークユニット監督)

第2班監督 岡田俊二

照明 小野晃

装飾 尾関龍生

録音監督 橋本文雄

製作統括 早河洋
島谷能成

出演 玉木宏

倉本孝行(海軍少佐・イ-77潜水艦艦長)

北川景子

倉本いずみ/有沢志津子

堂珍嘉邦

有沢義彦(海軍少佐・イ-81潜水艦艦長)

平岡祐太

坪田誠(軍医中尉・イ-77潜水艦軍医長)

黄川田将也

遠山肇(イ-77潜水艦回天搭乗員)

太賀

鈴木勝海(イ-77潜水艦回水雷員)

松尾光次

森勇平(イ-77潜水艦水雷員)

古秦むつとし

早川伸太(イ-81潜水艦水雷長)

奥村知史

小島晋吉(イ-77潜水艦水測員)

戸谷公人

山下寛二(イ-81潜水艦水測員)

三浦悠

久保憲明(イ-77潜水艦回天搭乗員)

山田幸伸

岡山宏次(イ-77潜水艦水雷員)

伊藤ふみお

有馬隆夫(イ-77潜水艦機関科員)

鈴木拓

秋山吾朗(イ-77潜水艦烹炊長)

デヴィッド・ウィニング David Winning

マイク・スチュワート(米海軍駆逐艦パーシバル艦長)

ジョー・レヨーム

吉田栄作

鈴木瑞穂

吹越満

益岡徹

ジョセフ・フリン（米海軍駆逐艦
パーシバル副長）

桑田伸作（特務機関大尉・イ-77潜
水艦機関長）

鈴木勝海（現代）

中津弘（大尉・イ-77潜水艦航海長）

田村俊雄（特務大尉・イ-77潜水艦
水雷長）